

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 28 年 10 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 28 年 7 月～9 月期の実績および平成 28 年 10 月～12 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス・諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	18 社	60.0%
水産業部会	30 社	18 社	60.0%
機械工業部会	30 社	14 社	46.7%
建設業部会	30 社	20 社	66.7%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	18 社	60.0%
合 計	150 社	88 件	58.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－業況は前期よりも更に悪化、次期は全業種ともに大きな回復は見込めず－

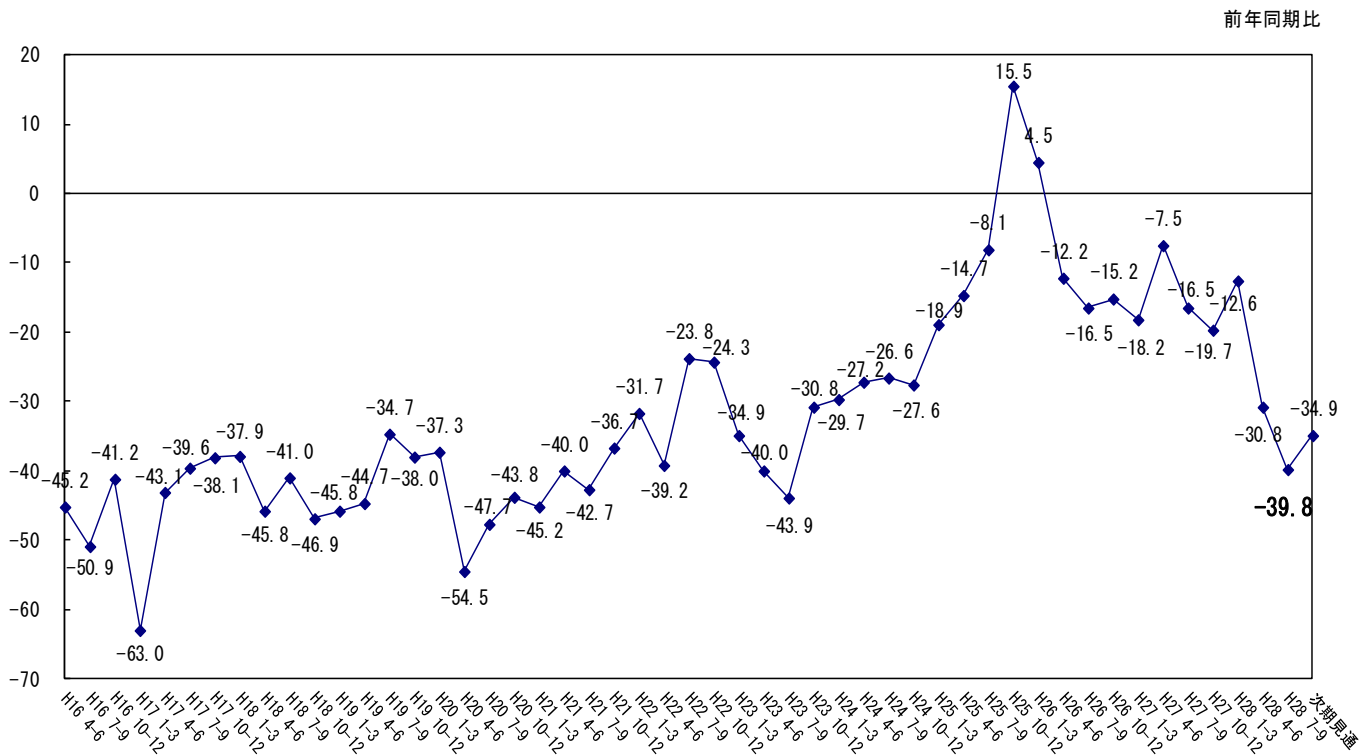
1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成28年7月～9月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比▲39.8**と前回調査時の▲30.8よりも更に**9ポイント悪化**しました。前回調査時には、今期の見通しを▲11.0と回復の期待が持たれていましたが、9月に発生した台風10号が全道各地にもたらした爪痕は大きく、商品仕入価格の上昇や仕入・発送の遅延、時化による不出漁、観光客の足止め等、様々な形で影響を及ぼしました。

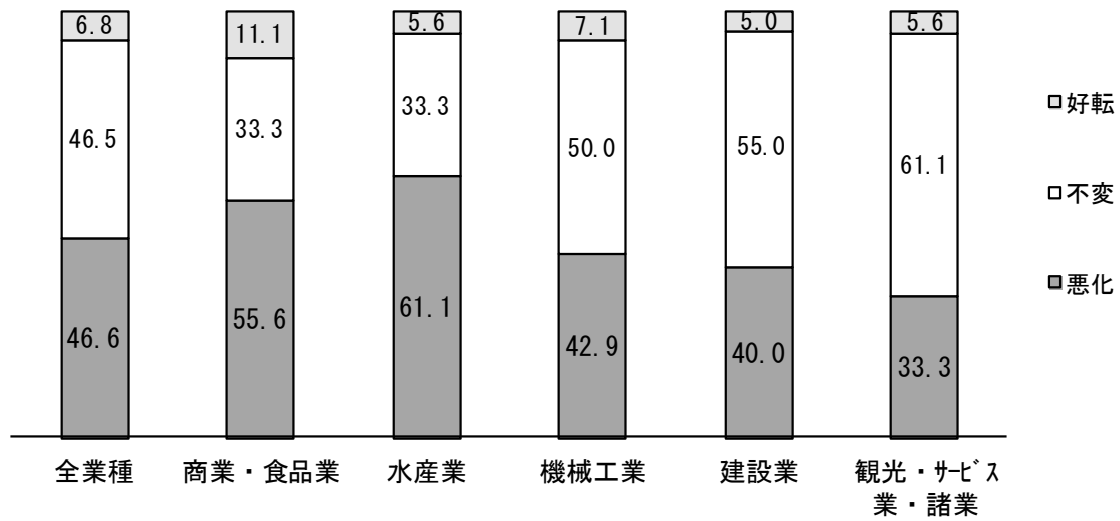
部会別の前年同期比ベースをみると、商業食品業[前年DI値10.5→今期▲44.4]、水産業[前年DI値▲50.0→今期▲55.6]、機械工業[前年DI値▲11.8→今期▲35.7]、建設業[前年DI値▲22.2→今期▲35.0]、観光サービス業・諸業[前年DI値▲10.5→今期▲27.8]と全ての業種で前年同期よりも大きな悪化の値を示しました。仕入単価の上昇、需要の停滞、原材料の不足等については、該当する業種では問題として訴える声が多くなっており、また、従業員の確保難で人員のやり繰りが付かず、業務が滞っているといた声も寄せられています。

来期(平成28年10月～12月)については、今期と比べて**業況判断DIは、全業種で大きな回復は見込めない**との見通しが寄せられる中、機械工業は▲57.1と最も深刻な見通しとなっております。このように厳しい状況となっております。当所では年末の融資相談や会社を支える従業員の資質向上の為にセミナーの開催をし、各事業所の経営支援をしております。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移) (好転－悪化)



今期の業況（前年同期比）



■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲44.4（前年 DI 値 10.5、来期見通し▲44.4）〕

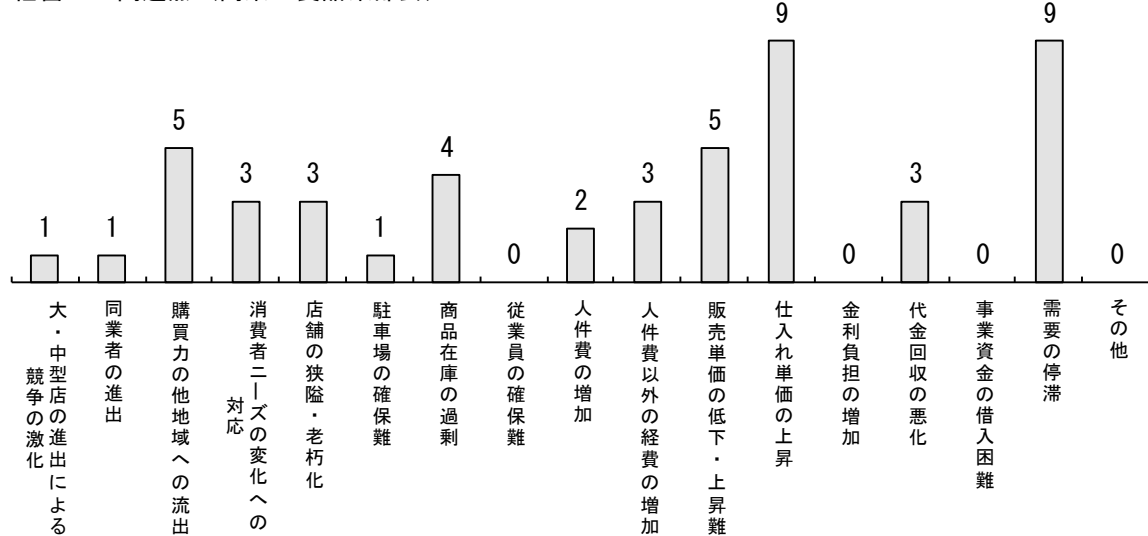
業況 DI 値（前年同期比）は、前年同期より 54.9 ポイントの大幅な悪化となりました。昨年は 6 月に「もんべつ地域活性化商品券」が販売され、市内での消費が活発化していた事と比較しての落ち込みも含まれているものと思われます。在庫水準も過大となっており、消費マインドが落ち込んでいることが窺えます。来期は、今期と同ポイントながら、悪化の見通しとなっております。

経営上の問題点としては「仕入れ単価の上昇」「需要の停滞」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・景気の悪化。（衣料品小売）
- ・お客様の急な故障や商品注文に対応する為、商品の在庫が過大になる。無ければネット注文や大型店に流れ、商機を逃す。（家電小売）
- ・高齢化、除雪対応（食料品小売）
- ・台風の被害と雨の多い影響で作物の品質が悪い上に、品不足から季節物の販売期間が短く、又価格上昇の為売上低下。（食料品小売）

経営上の問題点（商業・食品業部会）

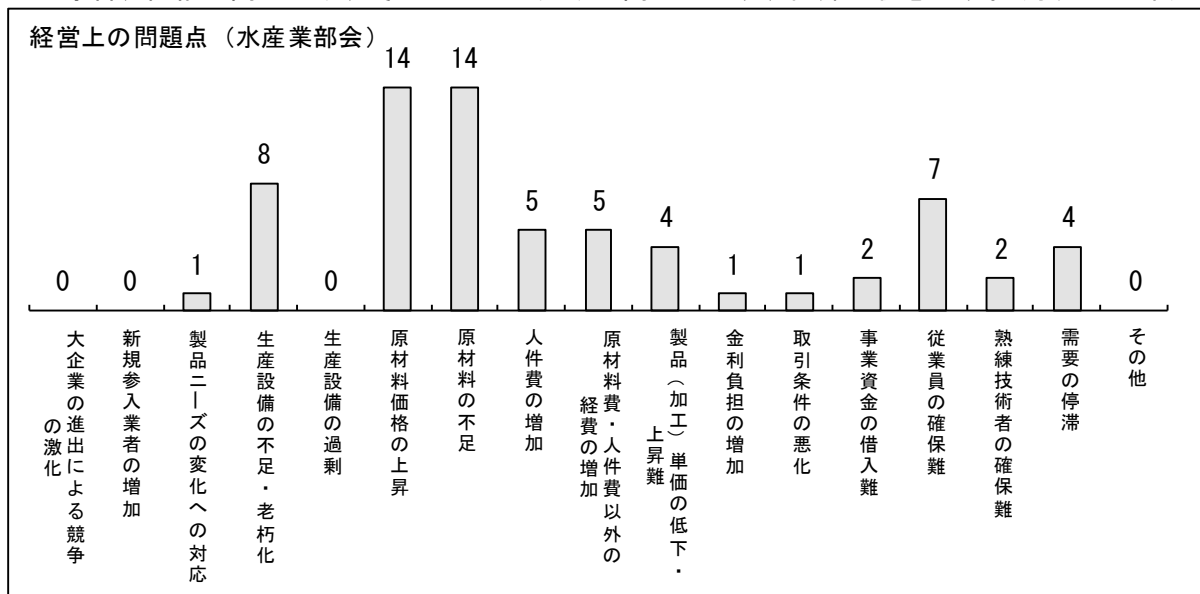


【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲55.6（前年DI値▲50.0、来期見通し▲52.9）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、最盛期にも関わらず、平成26年の冬の低気圧の影響によるホタテの減耗に加え、サケ・マス漁も台風や時化の影響で水揚げが少なくなる等、業況は前年よりも5.6ポイント悪化しました。しかしながら、水揚げが減少しているサケ、マス漁も価格は前年並みと、水産加工場には厳しい状況が続いております。来期は、2.7ポイントと僅かながら回復の見通しとなっておりますが、以前として▲50ポイントを超える厳しい見方が続いております。仕事量の減少により、例年冬期間に行う仕事にも既に着手している事業所も出てきていることから、冬の仕事の見通しが立たないといった悲痛な声も寄せられております。経営上の問題点としては、「原材料価格の上昇」「原材料の不足」が突出して多くなっております。

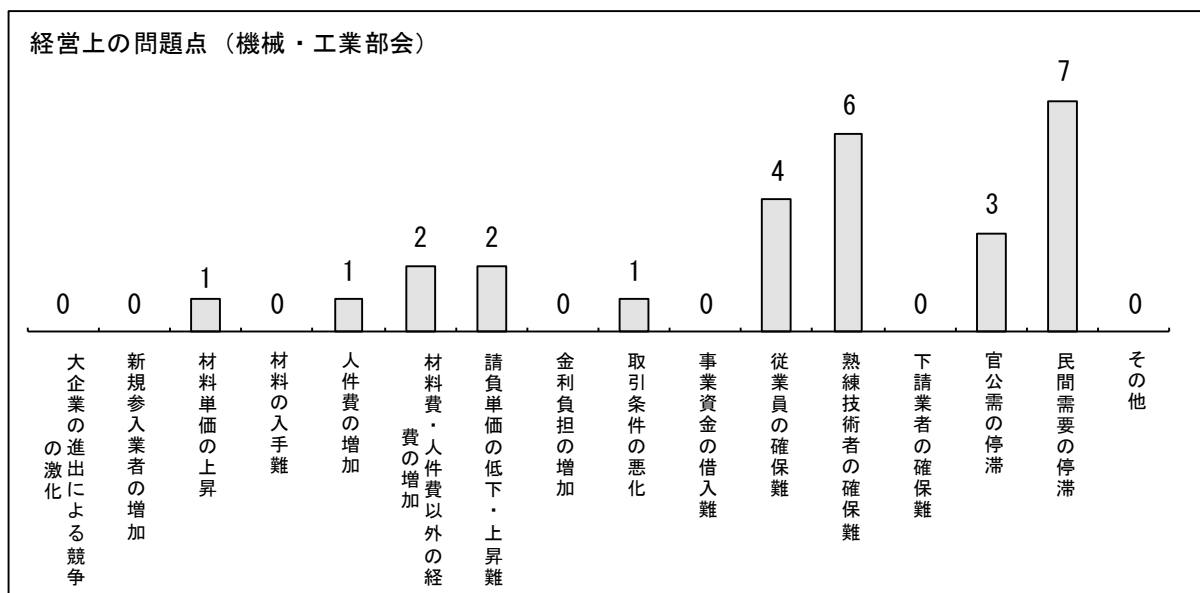
《業界の問題点等》

- ・原料、価格が高くなり、それに並んで売りが高くなり、困難な状態です。（水産加工業）



【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲35.7（前年DI値▲11.8、来期見通し▲57.1）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年DI値に比べると大きく悪化しています。水産業界の停滞に伴う資材の受注・製造等の鈍化など、需要の停滞が大きな要因となっています。しかしながら、自動車整備については順調に大きな変化はなく推移しており、また、一部では機械の購入サイクルで売上が順調に推移しているとの声も寄せられています。来期は▲57.1と更に悪化する見通しとなっており、先行きが見通せない状態になっています。経営上の問題点として、「民間需要の停滞」「熟練技術者の確保難」を訴える声が多く寄せられております。

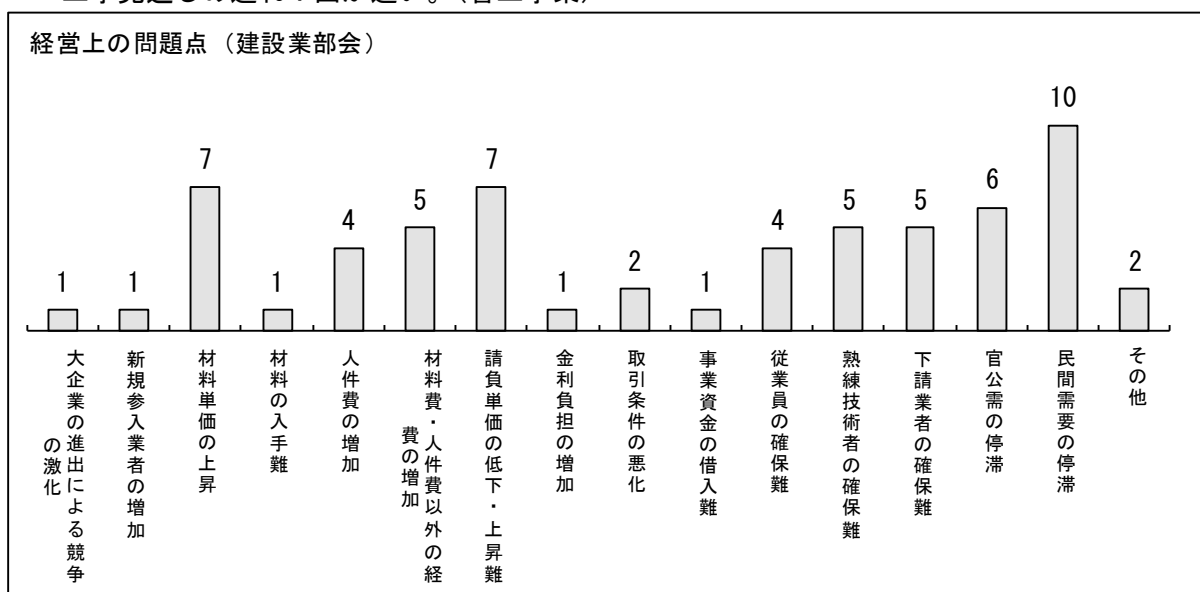


【建設業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲35.0（前年 DI 値▲22.2、来期見通し▲20.0）〕

業況判断 DI 値（前年同期比）は、12.8 ポイントの悪化となっております。官公需や民間需要の停滞が大きな要因ではあるものの、市内での建設工事が他地域からの業者によって行われ、市内の建設に関わる業種に波及されていないことが懸念されております。来期は今期よりも15ポイント回復する見通しとなっております。経営上の問題点としては、「民間需要の停滞」「材料単価の上昇」「請負単価の低下・上昇難」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・民間住宅工事が、大手ホームビルダーと近郊の建設会社に取りられている。地元業者の努力不足があり。「官公庁の建築工事では地元を」、業者が地元にお金を落とすことをしないと、紋別市経済の潤いが無い。（建設業）
- ・後継者がいないこと（管工事業）
- ・交通誘導員（下請）の確保が困難で、現場が進まない。（土木建設業）
- ・工事見通しの遅れ！出が遅い。（管工事業）



【観光サービス業・諸業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲27.8（前年 DI 値▲10.5、来期見通し▲5.9）〕

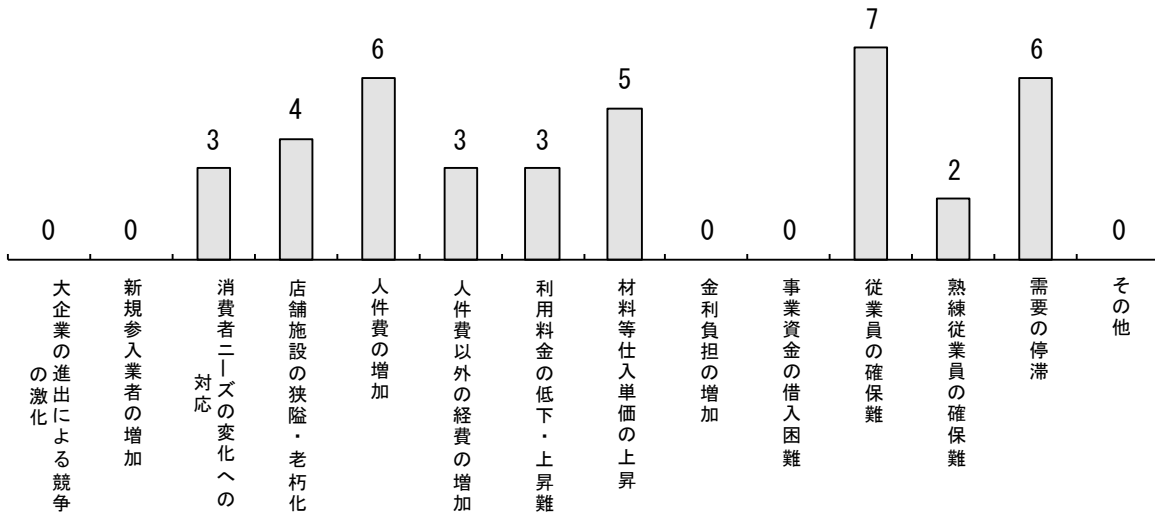
業況判断 DI 値（前年同期比）は、17.3 ポイント悪化しております。首都圏の大学の合宿や夏観光により飲食業等は若干回復しているとの声も寄せられましたが、理美容、介護、旅客運送といった業種では、昨年よりもやや悪化との回答が多くなりました。次期の見通しは▲5.9と今期と比較して余り変化が無いとの回答が最も多くなりましたが、各業種において年末商戦に向けての需要が高まっていくものと期待されます。

経営上の問題点としては、「従業員の確保難」「人件費の増加」「需要の停滞」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・従業員が辞めた後の補充ができない。（飲食業）
- ・仕入単価の高騰（飲食業）
- ・人口減少による需要・売上高減への対策。（宿泊業）
- ・徐々に好転しているようです。円高の為に店油の価格が少しでも下がってくると本当に有り難い限りです。しかしこの状態も長く続かないようです。そのうちに消費税が上がって来ます。とにかく、自主的に良い考えを見つけて忍耐と努力をします。（旅客運送業）

経営上の問題点（観光・サービス業・諸業部会）



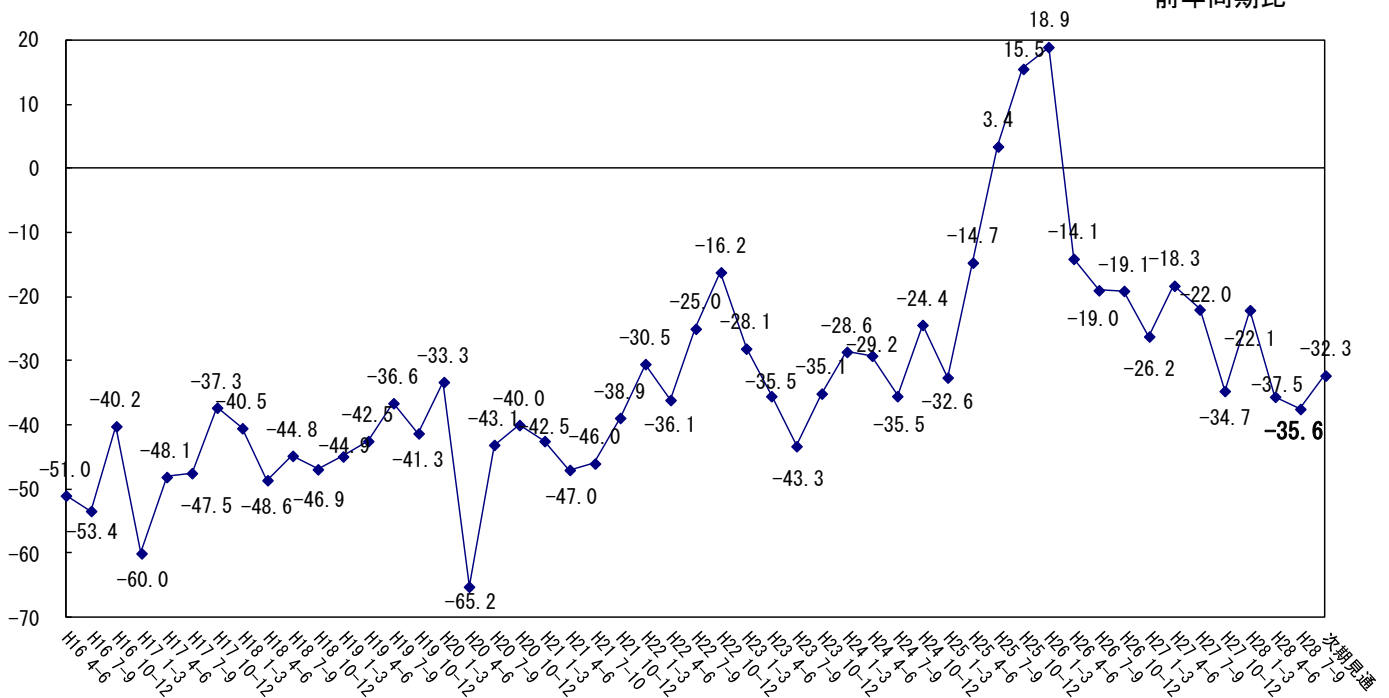
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

売上高推移（全業種平均D・I）

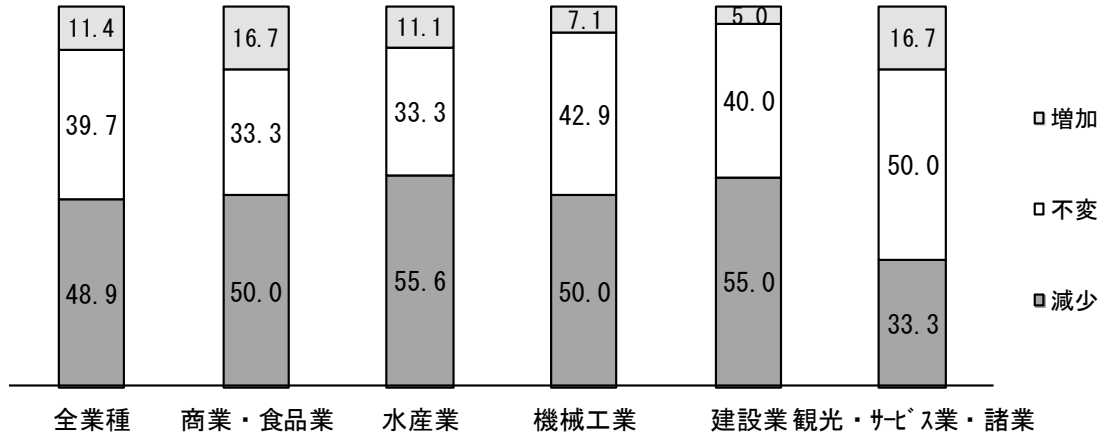
（増加－減少）

前年同期比



【前年同期比】（平成 27 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の売上高）

今期の売上高・生産高（前年同期比）



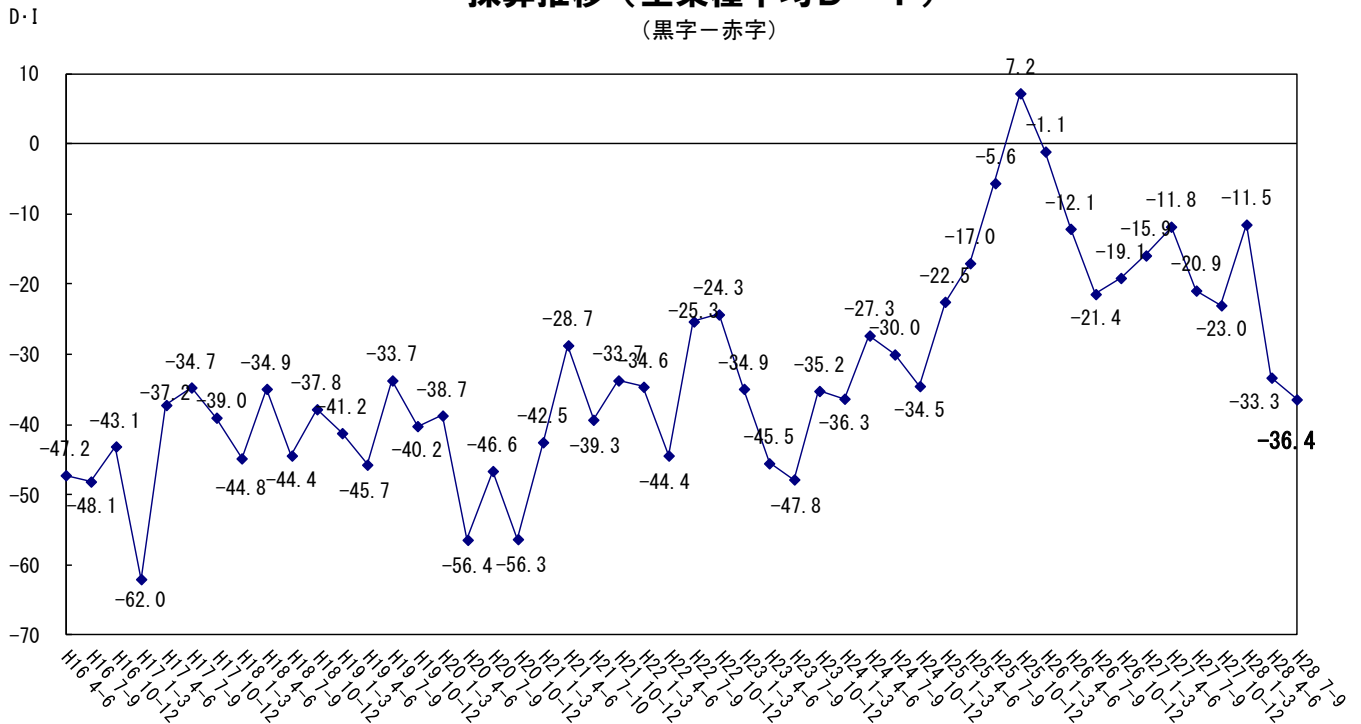
全業種平均で DI 値▲37.5〔前年調査時（平成 27 年 7～9 月期▲22.0）より 15.5 ポイント悪化〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年 5.3→▲33.3〕、水産業〔前年▲38.9→▲44.4〕
 機械工業〔前年▲11.8→▲42.9〕、建設業〔前年▲38.9→▲50.0〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲26.3→▲16.7〕

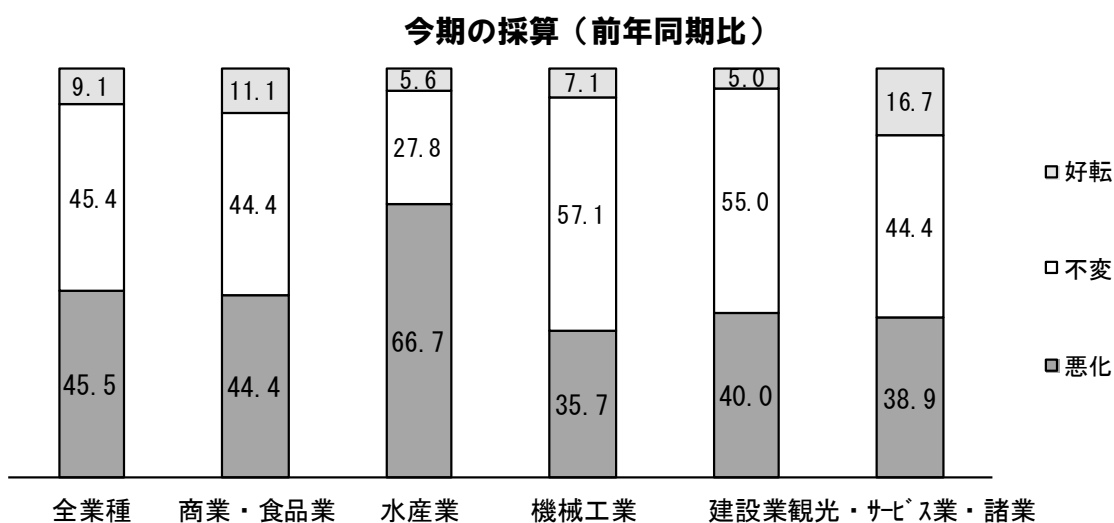
(2) 今期の採算

採算推移（全業種平均 D・I）

（黒字＝赤字）



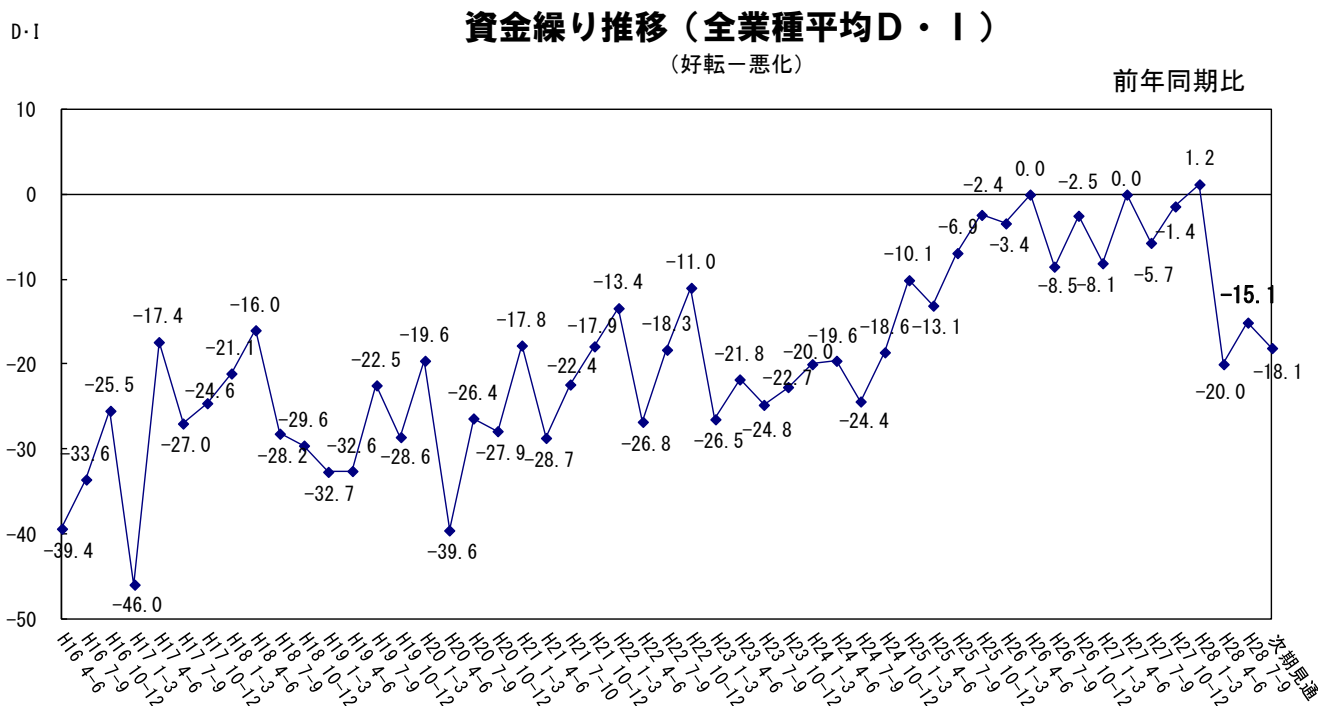
【前年同期比】（平成 27 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の採算水準）



全業種平均で DI 値▲36.4〔前年調査時（平成 27 年 7～9 月期▲20.9）より 15.5 ポイント悪化〕

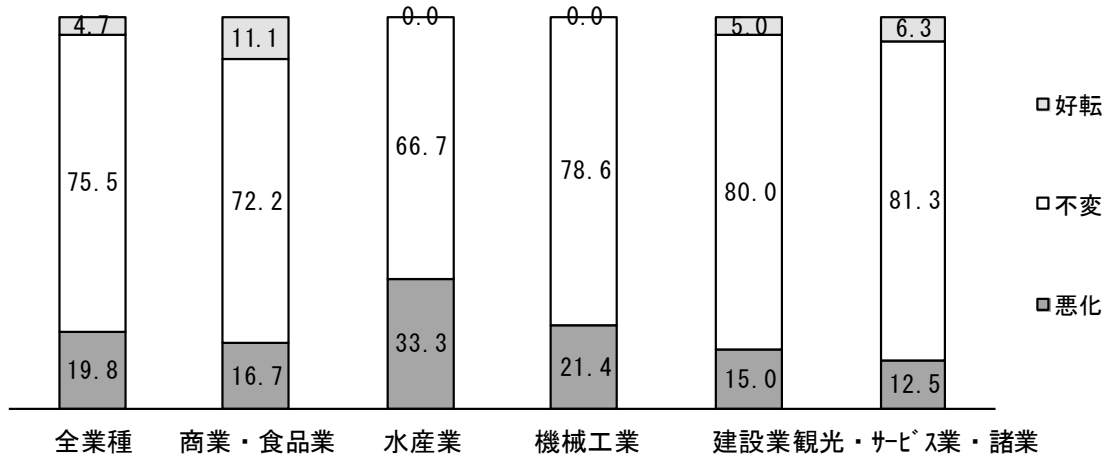
〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年 15.8→▲33.3〕、水産業〔前年▲55.6→▲61.1〕
 機械工業〔前年▲17.6→▲28.6〕、建設業〔前年▲38.9→▲35.0〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲10.5→▲22.2〕

(3) 今期の資金繰り



【前年同期比】（平成 27 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の資金繰り）

今期の資金繰り（前年同期比）



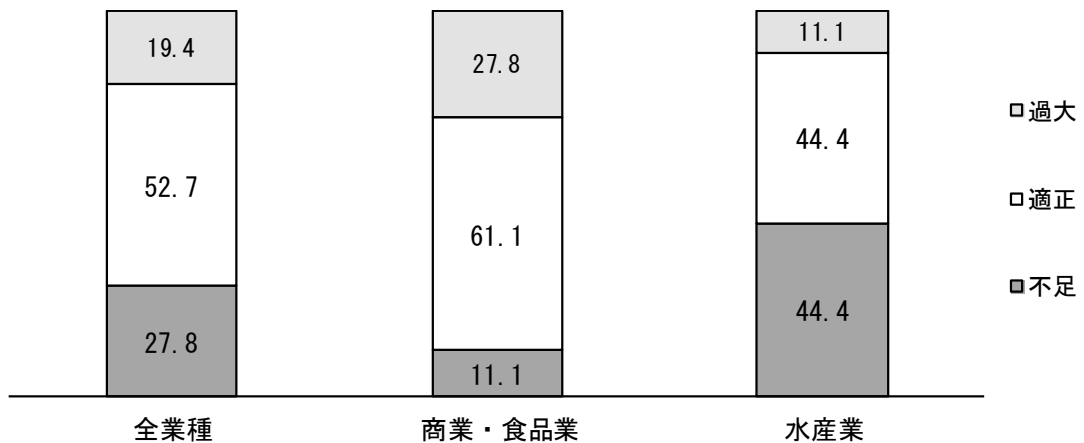
全業種平均で DI 値▲15.1〔前年調査時（平成 27 年 7～9 月期▲5.7）より 9.4 ポイント悪化〕

[部会別 DI 値] 商業・食品業〔前年 10.5→▲5.6〕、水産業〔前年▲33.3→▲33.3〕
 機械工業〔前年 0.0→▲21.4〕、建設業〔前年▲11.1→▲10.0〕
 観光・サービス業・諸業〔前年 5.6→▲6.3〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 27 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）

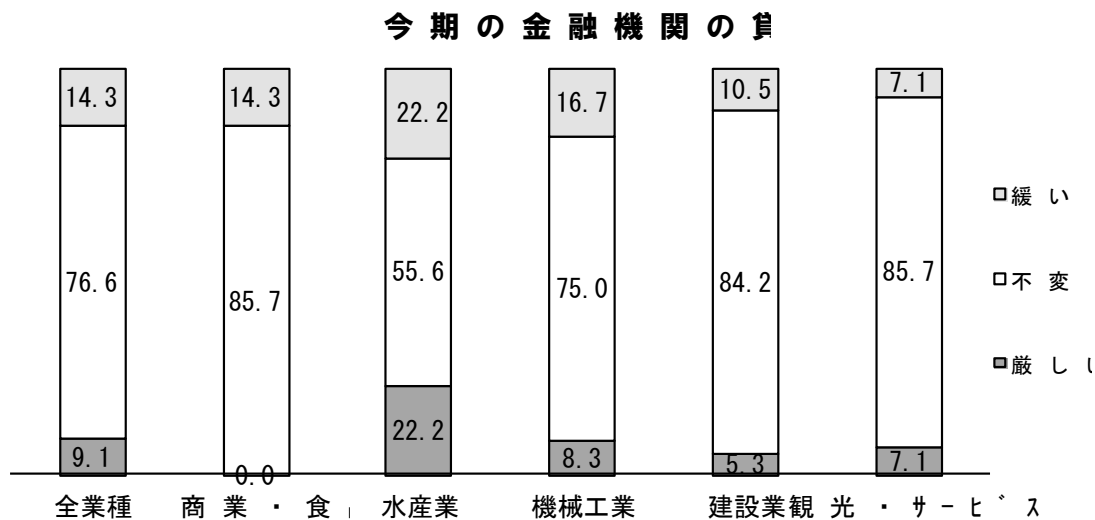


全業種平均で DI 値▲8.4〔前回調査時（平成 28 年 4～6 月期 0.0）より 8.4 ポイント不足〕

[部会別 DI 値] 商業・食品業〔前年 5.3→16.7〕、水産業〔前年▲55.6→▲33.3〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

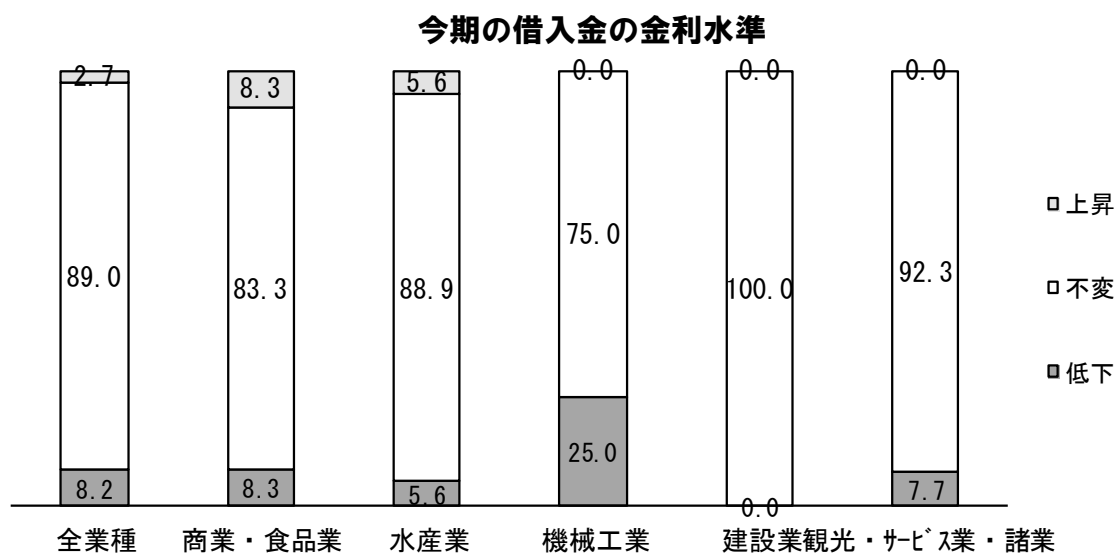
【前年同期比】（平成 27 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）



全業種平均で 5.2 ポイント。商業食品業 14.3、水産業 0.0、機械工業 8.3、建設業 5.3、観光サービス業・諸業 0.0

(6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（平成 27 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

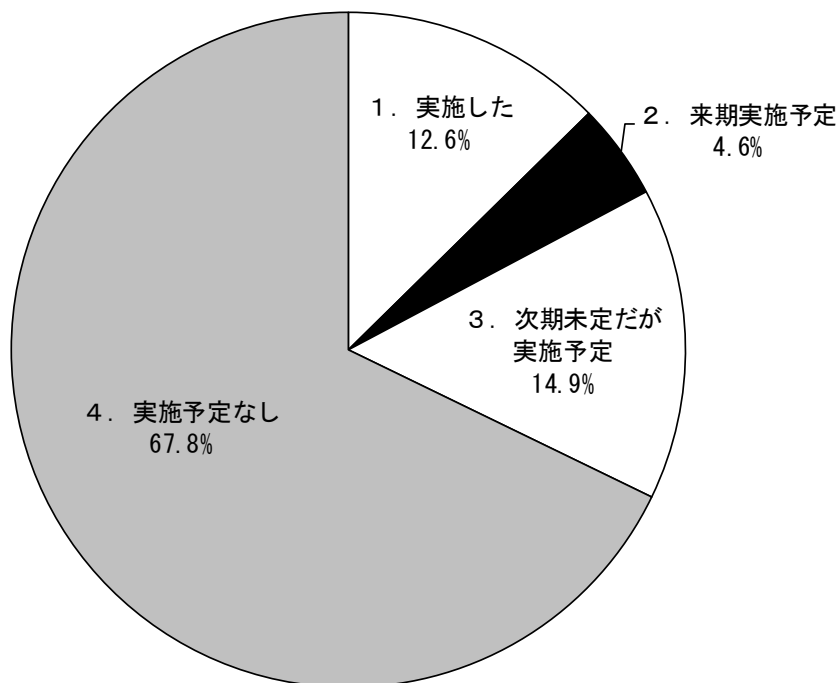


全業種平均で▲5.5。商業食品業 0.0、水産業 0.0、機械工業▲25.0、建設業 0.0、観光サービス諸業▲7.7

(7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

設備投資の実施状況

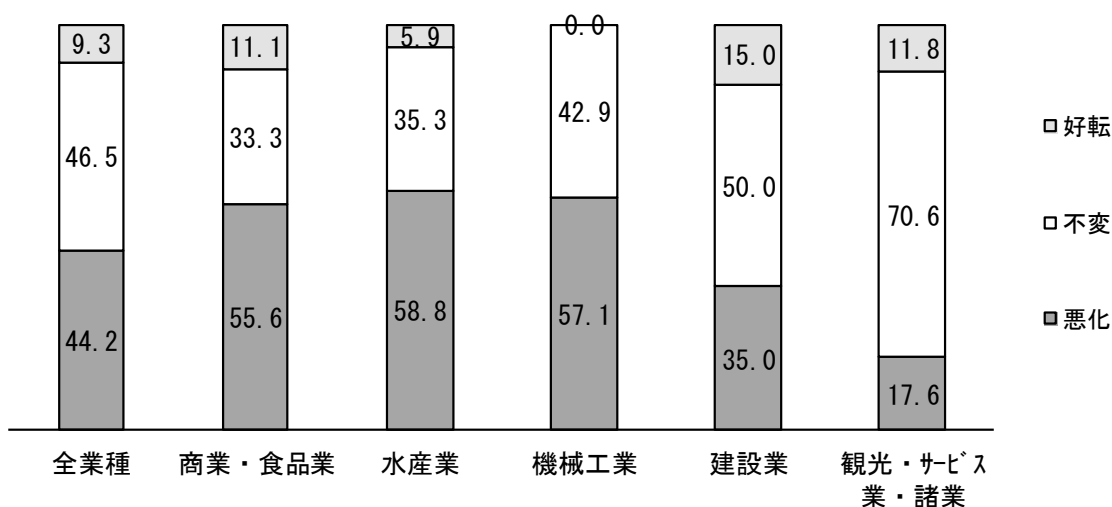


3. 来期の見通し

(1) 来期の業況見通し

【今期比】（平成28年7月～9月期の水準と比較した来期の業況見通し）

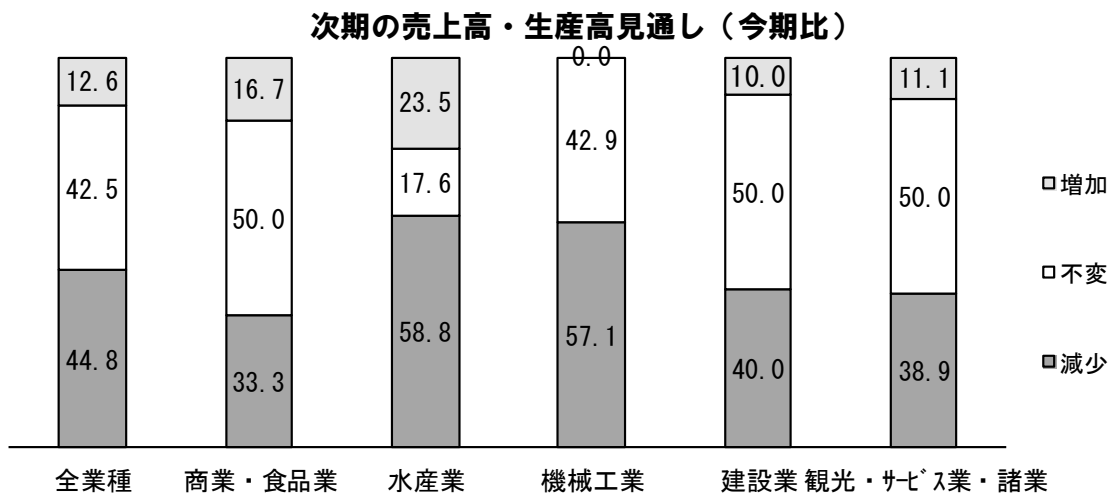
次期の業況見通し（今期比）



全業種平均DI値▲34.9 [今期の業況▲39.8より4.9ポイント回復の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高見通し

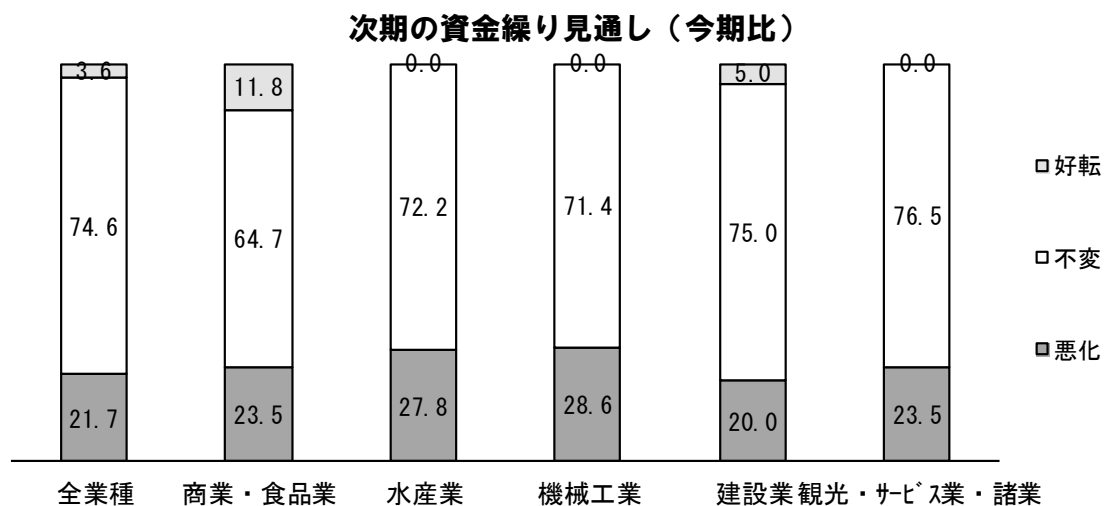
【今期比】（平成 28 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値▲32.2 [今期の売上高・生産高▲37.5 より 5.3 ポイント回復の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 28 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値 ▲18.1 [今期の資金繰り▲15.1 より 3 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サービス 業・諸 業
業況判断 D・I	今期実績	▲39.8	▲44.4	▲55.6	▲35.7	▲35.0	▲27.8
	来期見通し	▲34.9	▲44.4	▲52.9	▲57.1	▲20.0	▲5.9
売上 D・I	今期実績	▲37.5	▲33.3	▲44.4	▲42.9	▲50.0	▲16.7
	来期見通し	▲32.2	▲16.7	▲35.3	▲57.1	▲30.0	▲27.8
在庫 D・I	今期実績	▲8.4	16.7	▲33.3	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	▲36.4	▲33.3	▲61.1	▲28.6	▲35.0	▲22.2
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲15.1	▲5.6	▲33.3	▲21.4	▲10.0	▲6.3
	来期見通し	▲18.1	▲11.8	▲27.8	▲28.6	▲15.0	▲23.5
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	5.2	14.3	0.0	8.3	5.3	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲5.5	0.0	0.0	▲25.0	0.0	▲7.7
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。